

令和5年度 人権教育全体計画〈静岡県立静岡農業高等学校〉

関係法令等

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・世界人権宣言
- ・児童の権利に関する条約
(子どもの権利条約)
- ・人権教育及び人権啓発に関する法律
- ・こども基本法
- ・ふじのくに人権文化推進プラン
- ・静岡県教育振興基本計画 等

学校教育目標

静岡県中部地区の3系列、5学科を有する全日制農業科専門高校及び静岡県の農業教育中心校として、「真実・自律・友愛」の校訓のもと、常に「生徒と共に、地域と共にある」ことを目標に、実践的な農業教育を推進し、感謝の気持ちや思慮深さ、チャレンジ精神や創造力・想像力・実践力を持ち合わせた地域でリーダーシップが取れる人材の育成を目指す。

児童、生徒の実態

温厚で明るい性格の生徒が多い

自校の人権課題

自他の人権を大切にする態度や行動力を実践する

保護者の願い

社会に対応できる学力の育成

地域の願い

地域に貢献できる人材の育成

人権教育の目標や指導の重点

- ・報徳精神のもと、生命の触れ合いを通して、心豊かで他者を思いやる生徒を育成する。
- ・社会体験、インターンシップ等キャリア教育の中で、地域共に生きる生徒を育成する。
- ・さまざまな人権問題に対して正しい認識を持ち、人権問題を解決しようとする態度の育成。

学年・学級目標（学年・学級経営）

- [1年] 農業体験を通して生命の大切さを学び、やさしさや思いやりの心を育む
- [2年] 就業体験や交流活動を通して社会における人権問題に接し、幅広い社会観を養う
- [3年] 具体的な進路選択を通して人権を尊重し、共に生きる社会の実現を目指す態度を育てる。

各教科等における指導の重点

各教科

基本的な人権の理解を図る。
家庭環境に関わる人権教育の理解を図る。
自由、責任、正義、平等、尊厳権利、義務、相互の依存性、連帯性等の概念の理解。

農業科

各種体験授業を通して地域社会との共生を学ぶ。
他者と協働し、異なる意見や考え方を活かして新たな知を創造しようとする姿勢。

特別活動

福祉、人権、保育体験などを通して共生の生き方を学ぶ。
他者の痛みや感情を共感的に受容できるための創造力や感受性を養う。

ホームルーム活動

情報モラルに関する教育の充実。
自分や他者の意見や考えを大切に作るクラスづくり。
人間関係のゆがみ、偏見、差別を見極める技能を養う。

生徒指導・教育相談等

- ・職員会議を利用し、人権に関するトピックスな事例を公表する
- ・人権に関する研修、文献等の案内等を積極的に行う。

- ・保護者面談、クラス懇談を通して家庭における人権を問題の啓蒙
- ・教育相談スタッフ、担任によるカウンセリング

地域、家庭、関係機関等との連携

- 人権に対する正しい理解を深めること
- 人権感覚を高めること
- 自己肯定感を高めること

教職員の人権感覚の向上

令和5年度 年間指導計画（静岡農業高等学校）

	第1学年	第2学年	第3学年
4月	情報モラル教室	いじめを取り巻く”人”について考える	生命、生存及び発達に関する権利
5月	芸術 人権啓発ポスター制作	よりよい学校生活、集団生活の充実	自己のありかたや生き方を考える。
6月	コミュニケーション能力の育成	社会の一員としての、望ましい人間関係。	社会に生きる一員として、男女が協力する社会について学ぶ。
7月	交通安全教室、非行防止教室		
8月	地域の人々の交流（職業インタビュー）	地域の人々との交流（インターンシップ）	地域の人々との交流（企業見学・オープンキャンパス）
9月	職業インタビュー発表	戦争から考える「子どもの権利条約」	性の多様性について考える
10月	保育体験実習	修学旅行（平和学習、地域産業学習）	進路の自己決定
11月	人権啓発ポスター掲示		
12月	SNSの適切な利用について インターネットのトラブルについて		
1月	感染症に関する偏見や差別をなくそう	地域の人々との交流（インターンシップ）	社会における支援体制
2月	命の尊さを学ぶ	現代の感染症とその予防	人権教育アンケートの実施
3月	進路ガイダンス （自己と他者の理解、地域社会について知る）		